



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月23日

上場取引所 東

上場会社名 芝浦メカトロニクス株式会社  
 コード番号 6590 URL <http://www.shibaura.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 茂樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理本部長 (氏名) 道嶋 仁  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 045-897-2425

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	10,114	53.1	△70	—	△47	—	△246	—
27年3月期第1四半期	6,605	△3.3	△736	—	△767	—	△1,057	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 △194百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 △1,047百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△4.98	—
27年3月期第1四半期	△21.41	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	52,758	15,714	29.8	318.07
27年3月期	54,720	16,057	29.3	325.01

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 15,714百万円 27年3月期 16,057百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において第2四半期末及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日毎の配当予想額は未定であります。

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,000	11.0	400	△43.3	300	△60.4	200	△53.7	4.05
通期	47,000	7.3	1,400	37.0	1,200	5.4	800	14.8	16.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	51,926,194 株	27年3月期	51,926,194 株
28年3月期1Q	2,521,226 株	27年3月期	2,519,101 株
28年3月期1Q	49,406,056 株	27年3月期1Q	49,409,811 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ①業績全般について

当第1四半期連結累計期間における当社グループの事業環境は、海外では中国の経済減速不安やギリシャ債務問題など様々なリスクがありますが、国内では円安基調が継続し景気は緩やかに回復しました。

このような状況において、液晶パネル分野はTV用大型パネル向けの受注が減少しましたが、スマートフォンやタブレットなどモバイル機器用中小型パネル向けの受注が増加しました。

半導体分野は、顧客の設備投資時期の調整などにより前工程向け装置の受注は減少しましたが、後工程向けボンディング装置の受注が増加しました。

こうした中で、当第1四半期連結累計期間の業績は、受注高は12,073百万円（前年同期比7.7%減）、売上高は10,114百万円（前年同期比53.1%増）、営業損失は70百万円（前年同期は営業損失736百万円）となりました。経常損失は47百万円（前年同期は経常損失767百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は246百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,057百万円）となりました。

## ②セグメントの業績について

## (ファインメカトロニクス部門)

液晶パネル前工程では、大型パネル向けの受注は減少しましたが中小型パネル向けは大幅に増加、全体として受注は増加し、同様に売上も増加しました。

半導体前工程では、受注は減少し売上は増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は5,046百万円（前年同期比59.5%増）、セグメント損失は466百万円（前年同期はセグメント損失686百万円）となりました。

## (メカトロニクスシステム部門)

液晶パネル後工程では、大型パネル向けの受注は継続しましたが、中小型パネル向けの受注は減少し、全体として受注は減少しました。売上は大型パネル向け、中小型パネル向けともに増加しました。

半導体後工程では新製品投入効果もあり、受注、売上ともに増加しました。また、太陽電池用製造装置の大型受注がありました。

この結果、当セグメントの売上高は4,182百万円（前年同期比63.1%増）、セグメント利益は331百万円（前年同期はセグメント損失130百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,962百万円減少し52,758百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,018百万円減少し40,199百万円となりました。これは主に、現金及び預金、未収入金が減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ56百万円増加し12,558百万円となりました。これは主に、機械装置が増加したことによります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1,618百万円減少し37,043百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が減少したことによります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ343百万円減少し15,714百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び配当金の支払いにより利益剰余金が減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間および通期業績につきましては、ほぼ当初の計画通りに推移していますので平成27年4月23日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、税引前四半期純利益に法定実効税率をベースとした年間予測税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(連結財務諸表に関する会計基準の適用)

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,213	3,006
受取手形及び売掛金	30,567	30,471
電子記録債権	322	395
商品及び製品	1,440	1,439
仕掛品	3,149	3,004
原材料及び貯蔵品	159	163
繰延税金資産	648	451
未収入金	1,221	563
その他	532	738
貸倒引当金	△37	△34
流動資産合計	42,217	40,199
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,275	28,277
減価償却累計額	△18,708	△18,832
建物及び構築物(純額)	9,567	9,444
機械装置及び運搬具	3,072	3,305
減価償却累計額	△2,297	△2,423
機械装置及び運搬具(純額)	775	882
工具、器具及び備品	597	607
減価償却累計額	△491	△500
工具、器具及び備品(純額)	105	107
土地	119	119
リース資産	369	364
減価償却累計額	△259	△259
リース資産(純額)	110	104
建設仮勘定	525	575
有形固定資産合計	11,203	11,232
無形固定資産		
特許権	362	370
その他	201	194
無形固定資産合計	564	564
投資その他の資産		
投資有価証券	125	135
長期前払費用	6	7
繰延税金資産	217	220
その他	386	400
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	734	761
固定資産合計	12,502	12,558
資産合計	54,720	52,758

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,618	10,823
短期借入金	5,720	6,236
1年内返済予定の長期借入金	700	700
リース債務	39	38
未払法人税等	205	48
未払費用	2,813	2,621
前受金	542	522
役員賞与引当金	23	8
受注損失引当金	21	16
その他	463	481
流動負債合計	23,146	21,497
固定負債		
長期借入金	5,800	5,800
リース債務	83	78
長期未払金	4	4
退職給付に係る負債	6,134	6,170
役員退職慰労引当金	11	7
修繕引当金	373	375
資産除去債務	34	34
長期預り保証金	3,072	3,075
固定負債合計	15,515	15,546
負債合計	38,662	37,043
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,761	6,761
資本剰余金	9,107	9,107
利益剰余金	2,386	1,992
自己株式	△1,721	△1,722
株主資本合計	16,534	16,139
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32	40
為替換算調整勘定	401	396
退職給付に係る調整累計額	△910	△862
その他の包括利益累計額合計	△476	△425
純資産合計	16,057	15,714
負債純資産合計	54,720	52,758

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	6,605	10,114
売上原価	5,070	7,948
売上総利益	1,535	2,166
販売費及び一般管理費	2,271	2,237
営業損失(△)	△736	△70
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	0	0
為替差益	1	76
その他	10	10
営業外収益合計	12	88
営業外費用		
支払利息	31	36
デリバティブ評価損	—	13
その他	12	14
営業外費用合計	44	64
経常損失(△)	△767	△47
税金等調整前四半期純損失(△)	△767	△47
法人税、住民税及び事業税	7	6
法人税等調整額	282	192
法人税等合計	290	198
四半期純損失(△)	△1,057	△246
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,057	△246



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純損失(△)	△1,057	△246
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	8
為替換算調整勘定	△53	△4
退職給付に係る調整額	64	47
その他の包括利益合計	10	51
四半期包括利益	△1,047	△194
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,047	△194

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	3,164	2,564	386	490	6,605
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	42	—	—	45
計	3,167	2,607	386	490	6,651
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△686	△130	△15	111	△720

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△720
全社費用(注)	△37
その他	△10
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△767

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	5,046	4,182	384	501	10,114
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	16	0	—	19
計	5,048	4,199	385	501	10,134
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△466	331	△21	118	△38

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△38
全社費用(注)	△52
その他	42
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△47

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。